

## 神奈川県自衛隊殉職隊員追悼式 「殉職隊員のご冥福を祈る」

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 兼本 貢祐）は、11月15日（木）、武山駐屯地において行われた「平成30年度神奈川県自衛隊殉職隊員追悼式」を支援した。

武山駐屯地司令執行のもと、神奈川県内に居住する18名の遺族の他、地元選出の国会議員、地元の首長、各協力団体等多数のご来賓と各部隊長等が参列し、菊の花で飾られた祭壇を参列者全員が見守るなか、厳肅かつしめやかに執り行われ、63柱の御霊のご冥福をお祈りした。

また、追悼式終了後は、佐島マリナレストランで神奈川県自衛隊遺族会「山ゆり会」の茶話会が行われた。当日は晴天に恵まれたこともあり、会場からは相模湾と雄大な富士山を望むことができた。本部長挨拶のあと、厳肅な式典が無事終了した遺族はホッとされたのか、リラックスした雰囲気の中で互いの近況報告など話し合い、終始和やかな歓談となった。

同地本は、遺族援護業務の必要性と重要性を改めて認識するとともに、地方協力本部は遺族にとって身近な存在でなければいけないことを再認識した一日であった。



## 即応予備自衛官雇用企業に感謝状を贈呈

自衛隊神奈川地方協力本部（本部長 1等海佐 兼本 貢祐）は、11月26日（月）、株式会社湘南レオテック（神奈川県藤沢市）において、平成30年度本部長感謝状の贈呈を行い、同社の即応予備自衛官雇用功労に対する謝意を伝えた。

同社は平成27年4月から即応予備自衛官1名を雇用して以来、年間30日間に及ぶ訓練出頭が容易となるよう、訓練出頭時に特別休暇を付与するほか、社内における予備自衛官等制度広報を実施することにより、従業員への理解獲得に努めるなど円滑な訓練出頭環境の醸成に継続して尽力している。

当日は、兼本本部長から同社代表取締役 伊藤 浩一氏に対し、直接感謝状が手渡され、「即応予備自衛官の雇用を通じた防衛省・自衛隊に対するご協力及び予備自衛官制度に対するご理解を賜り、大変ありがとうございます。我が国の防衛力維持の一端を担って頂いていることを誇りとして、引き続き即応予備自衛官の雇用にご協力いただければ幸いです。」との思いが伝えられた。

伊藤代表取締役からは「このような感謝状を頂き大変光栄です。引き続き即応予備自衛官の雇用を通じて防衛省・自衛隊に協力させて頂く。」との言葉が聞かれた。

神奈川地本では、「予備自衛官等制度はご協力いただいている雇用企業の皆様の協力なくして成り立たない制度であり、大変感謝している。本年10月からは、災害招集等に応じた場合や各種招集中における公務上の負傷等により平素の勤務先を離れざるを得ない状況となった場合に給付金が支給される制度が新たに導入されるなど、雇用企業に対するバックアップ体制も逐年充実している。今後あらゆる場面で積極的にPRし、予備自衛官等の新規雇用企業拡大及び予備自衛官等勢力の維持・向上に努めたい。」としている。



感謝状を手に笑顔の伊藤代表取締役（株式会社湘南レオテック）  
（左から松本即自班長、伊藤代表取締役、兼本本部長、持田予備自課長）